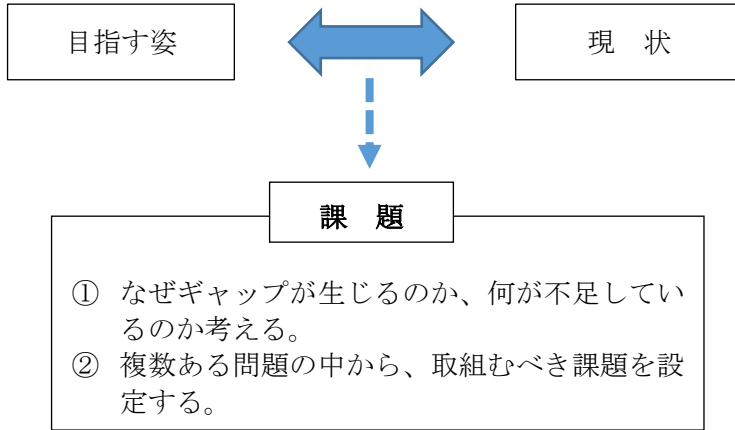


課題抽出の方法について

1 「課題」とは



2 資料3 「課題抽出のためのワークシート」による展開手順

課題抽出のためのワークシート 資料 2-1

目指す姿

医療と介護が必要になっても、住み慣れた場所で生活することができる。

↔

現状

様々な理由により、在宅医療生活が困難になる人がいる。また、家族がいてもいなくても、不安を感じながら生活している。

【なぜ在宅医療生活が困難になってしまうのか考える】

本人・家族・地域に関すること	専門職・医療機関等に関すること	その他のこと
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯が増えている。同居家族がいても高齢だったり、子世代も就労していたりする ・家族のストレス、疲労 ・ADLや認知機能の低下 ・夜間休日に問題が生じないか不安である ・医療や介護を担む人がいる。意思を持って拒否する人、認知症、ひまこもり、サービスへの理解不足など背景は様々である ・本人を敬愛する家族も疲弊する ・家族が亡くなること孤立しがちである ・受診の内容を理解してケアマネジャー等へ伝えることが困難な人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供体制が充実していないため、希望のサービスや必要とされる人材が受けられないことがある ・在宅等に対応できる医療機関が少ない ・新型コロナウイルス陽性者濃厚接触者のサービス再開時期が事業所によって異なる ・サービス導入が遅いことがある ・人材不足 	

【取り組むべき課題は何かを考える】

緊急性	重要性	取り組みやすさ	課題
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護を担う家族の身体的精神的ストレスを軽減する必要が
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	夜間休日の不安が軽減できるようにする
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	在宅医・ <u>医療機関</u> ・訪問介護等の供給不足をカバーする方策を見つけ取
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

ステップ 1

なぜギャップが生じるのか、問題は何かを出す。

ステップ 2

ギャップを生んでいる問題の中から、取り組むべき課題を選定する。課題が抽象的だと対策も抽象的になり、対症療法的なものとなりやすくなるため、課題は具体化する。

例) よく見られる課題
「医療機関と介護関係者の連携が弱い」

↑

いつ（どの時点）の連携が弱いのか？
何のための連携が弱いのか？
誰と誰の連携が弱いのか？

課題を選定する際の視点

- ✓ 課題としての緊急性
- ✓ 課題の重要性（目的や目標達成に直結する課題かどうか）
- ✓ 課題としての取り組みやすさ（緊急性や重要性を鑑みた上で）